

## 平成18年度第11回理事会議事概要

日 時 平成19年2月23日(金) 13:00～13:35

場 所 特別会議室

|     |                 |         |
|-----|-----------------|---------|
| 出席者 | 理事長             | 大 熊 幹 章 |
|     | 理事(企画・総務担当)     | 川 喜 多 進 |
|     | 理事(森林研究担当)      | 石 塚 和 裕 |
|     | 理事(林業・木材産業研究担当) | 久 田 卓 興 |
|     | 監事              | 真 柴 孝 司 |
|     | 監事              | 井 上 徹 雄 |
|     | 企画調整部長          | 志 水 俊 夫 |
|     | 総務部長            | 金 澤 弘 行 |
|     | 事務局(企画科長)       | 大 河 内 勇 |
|     | 事務局(総務課長)       | 土 肥 史 朗 |

### 1. 開会

### 2. 議事

#### (1) 平成18年度全所研究推進評価会議議事次第について

(大河内企画科長)

<資料1：平成18年度全所研究推進評価会議議事次第により説明>

なお、交付金プロジェクトの報告については、今まで研究分野全体としての報告となっていたが、今年度から完了したプロジェクトについて報告をしてもらう方向で検討している。

また、3月16日に全所運営会議の開催を予定していることを申し添える。

(久田理事)

今年度完了した交付金プロジェクトの報告には、プロジェクトリーダーを呼ぶのか。

(大河内企画科長)

現在ペンディング状態で詳細が決まっていないが、プロジェクトリーダーが報告するかあるいは研究コーディネータが直接報告することになるであろう。

(石塚理事)

今回は交付金プロジェクトの報告を入れるかどうかということを含めて、提案しているところである。

今までは、全て重点分野の基で実行課題毎に指標のシートを作っていたため、プロジェクト課題が表に見えてこなかった。それを今回全部変えて、受託を含めて全てのプロジェクトが評価の基になり、集計表に評価結果がでるような形となった。そのため、交付金プロジェクトの報告は不要ではとの話もあったが、交付金プロジェクトの決定に当たっては研究戦略会議で相当な議論をしてきた経緯もあり、完了したものについては報告を受け、我々としてはフォローアップに繋がればとの思いもあって会議の議題として提案した次第である。

(大河内企画科長)

第2期中期計画期間になって今回が初めての全所研究推進評価会議となるため、具体的な詳細については資料の量などを見ながら今後詰めていく。

(大熊理事長)

5つの重点分野と12の重点課題の関係について、理事がコメントすることはないか。

(石塚理事)

この会議で評価単位用のシートができあがり、所としてとりまとめる時に理事が評価シートの自己評価を書き込むことになっている。その作業が終了した段階の5月の全所運営会議で、重点分野に対するコメントを残していく形にしたらどうか。

(井上監事)

4年後のことを考えると、毎年度ごとに理事が重点分野に対するコメントを残し次年度以降に繋げていくことは重要なポイントと考える。

(大熊理事長)

本件については、説明のあったとおり了解する。

(2) その他

・独立行政法人評価委員会林野分科会について

(志水企画調整部長)

2月21日に独立行政法人評価委員会林野分科会が開催されたので、概要について口頭報告する。

(大熊理事長)

本件については、報告のあったとおり了解する。

なお、本内容については現在林野分科会が進行中のため非公開とする。

次回の平成18年度第12回理事会は3月23日（金）13：00を予定する。

### 3. 閉会